

令和5年度

南ヶ丘小だより

Newsletter from Minamigaoka

校訓 心をみがき 体をきたえ 夢を大きく

学校教育目標 郷土に誇りを持ち 未来を拓く

心豊かな子どもの育成 (合志中校区共通目標)

令和6年1月29日 第17号 文責 澤田

令和6年の「今年の漢字」は、「挑」に決定しました。

昨年末から募集していた「今年の漢字」。合計104通の応募の中でから「挑」に決定しました。子どもも大人も何かに挑戦して、自分の自信につなげましょう。例えば・・・

挑

- 好きなイラスト描きをもっと練習
- 「ごめんなさい」を言うのは苦手だけど、まず自分から言ってみる
- なわとびの二重跳びを60回連続に挑戦
- 朝の登校を8:10から8:00にする
- 自分の洋服を自分で管理する

ことのは作品に心がぐっと動かされました。よく気づき、ことばにできましたね。

1月20日(土)に合志市主催ことのは作品コンクールの表彰式が開催されました。本校の全クラスから応募した結果、一行詩の部に9作品が入賞しました。入賞おめでとう。

最優秀賞 ◎「はじめまして」でたねをまき、「友だちになろう」で花が咲く

寺尾 さあや さん

◎「いただきます。」世界中には言えない人も。

目久美 さくら さん

優秀賞

◎いっしょにあそぼうは、はずかしがりやをげんきにさせることば

松木 りりか さん

◎おはよう その四つのことばで、話がつながる

川添 あんり さん

◎ごめんねは 相手の心を開く 大事なかぎ

井上 はるみ さん

◎「さようなら」より「また明日」、明日がワクワク楽しみだ

小田原 せりか さん

入選

◎「すごいね。」友だちもいい気持ち、ぼくもいい気持ち

目久美 かける さん

◎「ごめんね。」その言葉で心のきずがすぐなおる

山本 さとか さん

◎その言葉、自分で受け取ってみて。

窪田 りの さん

大谷 翔平さんありがとうございます！

南ヶ丘小学校にも、大谷さんの気持ちが詰まったグローブが届きました。とても感動し、そして心から感謝しています。以下は、いただいた手紙の内容です。グローブは、皆さんの手に取っていただけます。



ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。この手紙は、このたび私が学校に通う子どもたちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

私は、このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブをお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。この機会にグローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。野球しようぜ。



大谷 翔平